

事業所における自己評価結果

公表日： 2019/3/1

事業所名 ひなた園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	3	余分な物を置かずすっきりと過ごしやすいように配慮しています。	子どもたちがのびのびと過ごせるスペースの確保に努めています。
	②	職員の配置数は適切である	13	1		基本1：1で個別対応ができるように配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	3		写真カードや目印など子どもたちにわかりやすく視覚化をしています。アプローチや玄関の狭さ等は、引き続き改善目標にしていきたいです。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12	2	足への負担を考えて、マットをひき過ごしやすいように対応している	掃除の徹底、週末除菌掃除行っています。活動に使用する椅子は、子どもたちの背丈にあった椅子を用意しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	12	2		毎回の支援内容は支援計画を重視した視点で記録に残し、見直しを進めています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14			今後は取り組んでいきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	2	玄関に今月の予定、おたよりなどを張り出し、保護者の目につきやすいように情報公開をしている	今後も引き続き、より保護者の皆様にわかりやすく、口頭でも補足を加える、ホームページで開示するなど、取り組んでいきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	12	2		今後は取り組んでいきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	3	年に一度事業所全体での研修会を行っている。	今後は内外部の研修等の情報をより開示し参加できる機会を作っていきます。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14			面談で保護者からの聞き取りをし、アセスメントシートの作成を行い、計画の作成に役立てています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14			入園時全員にアセスメントシートの記入をお願いしています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14			児童発達支援計画については「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容に基づき作成しており、支援内容の説明をしておりますが、今後も理解していただけるような説明をしていくよう努力します
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14			日々の利用記録を参考に支援計画を立て職員間で共有し、日々の支援を行っている。

適切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	14			会議で、指導員さんに意見をだしていただき、活動内容を決めています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14			季節に合わせた行事、月々の制作を取り入れて、子どもたちが楽しく参加できるように工夫し、プログラムの変化を図っています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	13	1		生活面・環境面・コミュニケーション面に応じて、個々に合わせた支援計画を作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14			朝のミーティングを行い、本日の内容の確認を行い、個々に対応した打ち合わせを行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	14			支援後にミーティングを行い、子どもたちの様子を共有し合い、次の支援につなげています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14			支援の状況をその日のうちに記録をし、次回の支援に役立てています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	14			常勤職員はモニタリングに積極的に参加し、計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	14			支援計画担当者、責任者が会議に参加しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14			必要に応じて、市の担当職員、保健センター連携をし、情報交換を行っています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	14			現在、医療的ケアの必要な方のご利用はありません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	14			現在、医療的ケアの必要な方のご利用はありません。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14			保育所等訪問サービス等を利用し、情報共有または、それぞれの場所での利用状態を見ています。また、支援の統一に努めています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14			年に一度、学校訪問などを行ったり、学校の職員の方に来ていただくなどして、情報共有を図っています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	14			他事業所との連携を図っています。今後も今以上に連携に努めていきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	9		保育所等との交流はないが、地域の中学校の生徒さんがボランティアに来てくれたり、老人ホームでの交流を行っている。今後はもっと保育所等との交流を深めていけるように努めます。
	㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	9		公園、児童館で交流の機会が増えています。今後も、児童センター等の行事に積極的に参加し、地域交流を図ります。

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	14			送迎時にご家庭での様子の聞き取り、園での様子を伝達し、共通理解に努めています。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	11	3		当法人では専門職による保護者サロンの開催をしています。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14			契約時に管理者が読み合わせ、説明を行っています。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	14			半年に1回見直しを行い、お渡しし同意を得ています。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14			帰りの引継ぎの時相談を受けた時は助言をさせていただいています。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	5		行事のお手伝い等で保護者の方々に協力をしていただき、保護者同士の連携を図っています。今後はより多くの機会が増えるよう企画していきます。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	14			迅速に責任者に伝え、対応できるように望んでいます。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14			毎月行事予定表、年3回おたよりを発行し活動内容の共有を図っています。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	14			保管場所に注意して、管理しています。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	14			マカトサイン、写真カード等支援ツールを利用し、情報伝達に配慮しています。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11	3		近隣の老人ホームと一緒に行事を行ったり、公園で一緒に過ごして、交流を図っています。今後は、園に招待するなどして、より交流を図っていききたいと思います。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	14		
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14			消防署立会いの元、避難、通報、消火訓練を年一回行う。水害時の避難経路の確認、地震時の避難場所の確認を行いました。今後も継続して行います。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	14			契約時に保護者の方との確認を行いその都度服薬表を提出していただき子どもの状況把握を行っていません。
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14			入園前にアレルギーの有無についてのアンケートをとっています。
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14			より多くの職員が作成できるように周知、体制作りに努めています。

④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	4		全職員共通項目として今後、さらに研修機会を確保し、適切な対応をしていきます。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12	2		契約時に説明をしています。現在、拘束を必要とする利用者はありませんが、今後利用者がいた場合は、児童発達支援計画に記載していきます。